



100周年
武石

番所ヶ原スキー場

地域自治センターだより

平成23年/2011
1.16 | No.23 |



うさぎ
とら
寅年から卯年へ

輝かしい 新春を迎えて

平成23年の新春を迎え、皆様のご多幸とご健康を心からお祈り申し上げます。

建設中の小学校体育館もいよいよ完成間近となりました。体育館は、子どもたちの健やかな成長や地域の社会体育施設として活用されるほか、防災備蓄品の倉庫が備えられ、災害時には避難施設としても利用されます。

また、今年は、新生上田市が発足して5周年の節目を迎えます。

新市の一体感を一層深めるとともに、地域の特徴を活かした地域づくりを進めるため、平成21年から地域協議会で協議を深めてきた「武石地域全域公園園化構想」。いよいよ今年は構想の具体化・実現化の年になります。地域住民の皆様と共に、武石地域の資源を活かした地域づくりを推進し、市内外から訪れる方からも愛される武石地域となるよう、本年も皆様のご協力をお願いいたします。



武石保育園 おたのしみ会

12月11日、武石保育園でお楽しみ会が開催されました。

先生の手作り衣装でかわいく変身した園児たち。お父さん、お母さんが見ている前で少しでも緊張しながらも劇の役になりきって堂々と演技をしていました。歌も合奏も、とっても上手にできましたね。



2010年を振り返る

皆さんにとってどんな年でしたか？

春には、伝統的な武石地域の一大行事、御柱大祭が盛大に開催され多くの人でにぎわいました。また、児童館の開館、商工会の合併、消防団の分団統合など新たな取り組みもスタートしました。

猛暑となった夏。武石丼の発売や、夏祭りの花火大会が2年ぶりに復活。残暑が厳しく、短かった秋でしたが、マツタケが大豊作。地域内が活気づく嬉しい話題の多い1年だったのではないのでしょうか。

しかし、地域内からの企業撤退など厳しい経済状況の影響が身近に迫る話題のあった年でもありました。

2011年、皆さんにとって素晴らしい年になりますように。



4月11日に開催された子檀嶺神社御柱大祭。

迫力あるお練り行列、力を合わせた本曳き。1万人を超える観客が集まり、武石地域内は熱気に包まれました。

新しい特産品

武石丼発売

住民有志が「究極の地産地消」をテーマに発案した武石丼が7月1日に発売されました。

武石丼は、小中学校の給食にも登場し、食べられるお店も当初の3店舗から5店舗に増えました。

地域の新しい特産品です。



7年に1度 武石地域の一大行事

子檀嶺神社 御柱大祭



地域念願の子育て拠点施設

武石児童館「ふれんず」開館



地域の念願だった児童館が完成し、4月6日に開館しました。

子どもたちの健やかな成長を願い、やさしい木のぬくもりが子どもたちを包んでいます。

第8回

11月24日開催

●市からの諮問事項

『第1次総合計画「地域まちづくり方針」の見直しについて』

前回に引き続き協議を行う中、見直しが必要と思われる課題は、シカやイノシシなどの獣害の増加、農商工連携による特産品の開発と振興、子育て支援施設整備後の運営の充実などでした。

今後は、まちづくり方針への反映について、また、具体的な文言や表現を検討します。

第9回

12月21日開催

●武石地域全域公園化構想

検討会議報告について

8月から5回にわたり検討してきた公園化構想の具体策

がまとまり、竹内委員長から清住会長に報告書が手渡されました。(下記のとおり)

報告書には武石地域に適した樹木や構想の具体化に向けた提案など詳細に記載され、協議の結果、武石地域協議会として承認し、今後自治会等に働きかけていきます。

●オフトーク通信に関するアンケートについて

アンケートについて

老朽化の著しいオフトーク通信にかわる情報伝達のありかたを検討するためアンケートを実施する旨の報告がありました。今後、有線放送を継続する場合は、利用者負担が予想されることから、アンケートの結果を基に慎重に協議していきます。

会議報告

公園化構想

検討会報告(抜粋)

●武石地域に適した樹木

コブシ、ヤマボウシ、サルスベリ、ハナモモ、モミジ、ツツジ

●構想具体化に向けた提案

・樹木の植栽のほか、事後管理を行い、継続的な美化に努める。

・わがまち魅力アップ応援事業などを活用し、自治会や団体が自主的な活動に努める。

・活動内容には、公園や道路などの草刈り、獣害対策、松くい虫対策などの環境整備も含む。

・事業所や公共施設、個人にも構想の実現を働きかける。

・武石地域自治センターは、関連事業を計画し、地域協議会に諮るとともに、市民に周知する。

武石公民館だより

園 武石公民館
Tel 85-2030

No.23

レッツちゃれん児
カスタネット作り

11月13日、レッツちゃれん児では、安曇野市にある国営アルプスあづみの公園でカスタネット作り体験を開催し、小学生11人が参加しました。

カスタネットは、輪切りにされた間伐材を使います。ゴムで縛られた2枚の板に好きな絵や模様を描き、その板の間に枝を挟むと完成です。

早速、帰りのバスの中では、歌声にあわせて自作のカスタネットを楽しそうに演奏する姿が見られました。



武石のいいところ みつけた♪

武石保育園児の体験記

～野焼き(焼き物)に挑戦の巻～

12月2日、武石保育園では、使用している粘土が土粘土であることから、東信美術会の栗原宏方さんに協力していただき、初めての野焼きに挑戦しました。

コンクリートブロックの上に園児たちが作ったペンダントや箸置きを並べ、周りを囲んだワラや薪の火で約2時間焼きました。

初めての挑戦で黒くなりすぎたものや割れてしまったものもありましたが、焼きあがった自分の作品を見つけた園児たちは、うれしそうでした。



武石ともしび博物館でろうそく作り やさしい光でクリスマスを彩る

クリスマスを迎える前に、ともしび博物館ではろうそく作りが開催されます。12月14日には、武石保育園の園児たちがクリスマス会のキャンドルサービスで使うろうそくを作りました。クレヨンで赤や緑に色づけされた溶かしたロウの中に入ろうそくの芯を漬け、冷ましては漬ける作業を繰り返し、ろうそくが完成しました。22日のクリスマス会では、やさしい光が会場の雰囲気を盛り上げました。



また、12月19日に開催された体験教室では、約35人の家族連れがサンタクロスとクリスマスツリーのろうそく作りを体験しました。泡立てたロウをサンタのひげやツリーの飾りに見立ててろうそくにつけていきます。ツリーのろうそくの隣には、松ぼっくりを使用して作られたツリーが並べられ、参加者の中には「火をつけるのがもったいない」と話している子もいました。手作りろうそくの光で、一段と明るく楽しいクリスマスになったことでしょう。



武石観光センター新そば祭り 武石産のそばを味わう

11月14、15日の2日間、武石観光センターで新そば祭りが開催されました。



今年採れた武石産のそば粉を使った手打ちそばを食べようと、観光センターは朝から多くの人でにぎわい、中には、県外から食べに来たという人も。両日ともに11時を過ぎる頃には、建物の外まで行列ができ、2日間で約1,700食のそばが販売されました。



玄関前では、新米を使った恒例のもちつきが行われ、「きね」と「うす」でのもちつき姿を楽しみました。つきたてのおもちも販売され、好評でした。

せんぜい畑の会と小学校の交流給食 子どもたちに地元産の食材を

12月1日、武石小学校では、せんぜい畑の会の皆さんを招き、交流給食会を開催しました。



せんぜい畑の会は、子どもたちに地元産の安心・安全な食材を食べたいという願いから、小・中学校や保育園へ給食用の食材として野菜を出荷しています。

当日のメニューは、武石産の野菜がたっぷり入った「武石野菜の味噌汁」や大人には懐かしいクジラ



肉を使った「オーロラくじら」など。招かれた皆さんは、子どもたちに囲まれ、おいしく楽しい給食の時間を過ごしました。

武石丼スタンプラリー実施中

公認コメンテーターの認定証をゲット！



公認 コメンテーターになろう！

7月から発売された武石丼。現在5店舗で好評発売中です。5種類の武石丼をすべて食べると、公認コメンテーターに認定される「武石丼スタンプラリー」を平成23年3月31日まで実施しています。

武石丼のコメンテーターとして認定されるほか、お好きな武石丼一杯が無料で食べられる特典付きです。数量限定ですのでお早めに！



みんなであそぶ環境を
サステナブルな未来を

上田市はISO14001を導入し環境配慮活動を推進しています。過度なアイドリリングをしていませんか？

再生紙を使用しています。